

町長日誌 No.218



町長日誌の第 218 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

12月13日 (月曜日) 15:00

外はそれほど嵐模様ではないですがついに初雪積雪となりました。解けてしまいそうな雪ですが、それでも山間部は 15cm 以上の積雪となりました。昨年は、11 月 9 日には町全体に雪が 10cm 程度降り積もりました。しかし、その後あまり雪が降らずスキー場のオープンが危ぶまれましたが 1 月 8 日からの大雪・吹雪で何とかスキーができるようになりました。今年も昨年以上の雪不足となりそうですが、高齢者世帯の皆様にとって除雪の必要が無いことは幸いなことだと思います。さらには、雪が少なく気温が高めですから値上がりしている灯油の消費が少なくなれば家計にも幸いですね。町は高騰する燃油対策として全てのご家庭に 1 万円、福祉灯油対象世帯(高齢・子育て・障害者など)にはさらに 1 万円の商品券を 12 月 16 日からお配りします。また、経済対策として国が行う 18 歳までの子育て世帯への 5 万円給付については中学 3 年生までは児童手当の支給制度を活用して今月 28 日口座に振り込ませて頂きますが、高校生については申請を受けてからの振り込みとなりますので、5 万円の給付は 1 月になります。残りの 5 万円については国会で揉めていますが、現金給付で良いとなれば 12 月中に 10 万円一括で振り込みを考えたいと思います。いずれにしても、少しでも温かいお正月を迎えて頂ければと願っています。

12月5日 (日曜日) ~ 7 (火曜日)

市町村が病院や診療所を直接経営している場合「自治体病院開設者協議会」あるいは「国民健康保険診療施設開設者協議会」と言う組織に加盟しています。興部町は国民健康保険病院(通称:国保病院)なので両方に加盟しています。加盟している多くが 50 床程度の病院或いは診療所です。コロナ禍が約 2 年続いていますが病院を取り巻く環境は大きく変わりました。まず、外来患者の激減です。薬の長期服用、電話診療も可能となり、健康診査・各種検査なども控えたことから外来収益が激減です。コロナ患者を受け入れる病院は昨年度特別交付金を受けたことから黒字となりましたが、受け入れ施設の無い 1 次医療の小さな病院はまともにコロナの影響を受けています。しかも、ワクチン接種を始め救急対応、高齢者の多い入院病床の衛生管理等、気苦労の多いことばかりですが、興部町の様に二人の医師と看護師などの体制があればこそスムーズなワクチン接種も可能なのです。この事を、二つの協議会を代表して新日高町長と共に総務省・厚生省に訴えてまいりました。当然な事ながら、国も自治体病院の経営難は知っており、12 月分の特別交付税を増額して頂きましたが、「まだまだ不十分である」と病院のデータなどを示しながら来年度に向けての対応を要望してきました。

さて、この広報が皆様のお手元に届くころには皆様お揃いで新年をお迎えのことと思います。令和 3 年もコロナに振り回された一年でしたが皆様のお陰で大過なく終えることが出来ましたことに感謝申し上げます。来るべき 2022 年もどうかよろしくお願い申し上げます。いつものことですが新年のご挨拶は広報にて代えさせて頂きますのでご理解ください。どうか、皆様良いお年を!! では、また来年。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。